

かに文化



蟹江町文化協会

令和7年12月1日発行 第63号

蟹江町内神社の秋季大祭と文化

蟹江町では江戸時代から、氏神様（鎮守様）に「地域の安寧と五穀豊穡」を願う秋季大祭が行われてきました。

高齢化と情報の多様化で、祭や芸能に参加する人材が不足し、祭文化の傳承活動が難しくなってきました。このような時こそ、人と人との絆を育み、地域を活性化する祭文化の繼承に文化協会の果たす役割は大きいと思います。

文化協会邦楽部門の太鼓保存会や舞踊部門の指導者が、神楽屋形や祭屋形の余興に、笛や太鼓の演奏、道踊りなどの傳承で祭を盛り上げています。

蟹江祭は、江戸時代、尾張藩主徳川継友が名古屋城へ出向かせたと伝えられています。

現在、蟹江神明社の秋季大祭は、九月の最終土曜日、日曜日に行われます。

土曜日の午後や奉納の後は、各々の地区を巡行します。締太鼓と笛を演奏し、「道行き」「戻り囃子」の道踊りを披露する町内もあります。拝殿では、海東流神楽太鼓保存会による曲打ち太鼓が奉納され、周辺には、露店が並び賑わいます。

海東流神楽太鼓保存会は、今地区三明神社、舟入神明社に奉納、かつては、源氏八幡社や日吉神社などで祭礼の笛や太鼓の指導や奉納をしていました。

蟹江西大海用神明社では、西大海用神楽太鼓保存会が、神明社境内の舞台で伝統の曲打ち太鼓の演奏や巫女の舞が披露されます。かつては、尾張新次郎太鼓の指導を受け、現在は、西大海用神楽太鼓保存会独自で傳承活動を行っています。





文化協会会長

大河内 正博

今年度から蟹江町文化協会会長を拝命しました大河内正博でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

蟹江町文化協会は、昭和五十三年に発足して先輩諸氏の築いてこられた長い歴史を基盤として、四十七周年を迎えました。

美術部門、芸能部門など多彩な分野で技術や芸を高め、発表会や町民まつり、生涯学習フェスティバルでは団体及び個人が親睦と連帯を深めるなど幅広く活躍し、文化の裾野を広げる活動をしてきました。会員各位に感謝を申し上げます。

社会の急激な変化が進み、連帯意識が希薄化する中、文化は人と人を結び付け、お互いに尊重しあう土壌をつくり、人々が心豊かな暮らしをする基盤となります。

文化協会は、一人ひとりの自己表現と文化の香り高い町づくりに、また人生の生き甲斐づくりにもお役に立つことができるよう社会貢献していききたいと思っております。

三年後には文化協会創立五十周年の節目を迎える事になります。

伝統と歴史を継承しつつ、新しい目標にもチャレンジしていく心構えであります。

最後に会員各位一層の努力並びに関係各位の温かいご支援、ご協力をお願いしてご挨拶いたします。



蟹江町長

横江 淳一

かにえ文化第六十三号の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

蟹江町文化協会役員並びに会員の皆様におかれましては、日頃より町政全般にわたりご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝いたします。

さて、本年を振り返りますと、大阪・関西万博や世界陸上競技選手権大会が日本で開催され、世界中から日本に向けて大きな注目が集まる年となりました。

また、国内外から多数のアーティストが参加し、現代美術や舞台芸術などを広く発信していく国際芸術祭あいち2025が開催されるなど、日本のみならず世界の文化芸術の発展に大きな影響を与える一年であったように感じております。

蟹江町につきましても、らしさあふれる粋な蟹江の魅力・歴史をより多くの方に知っていただくことができるよう、より一層注力して様々な施策に取り組んでいきたいと思っております。

これからも、蟹江町文化協会会員の皆様の一層のご理解とご協力をお願いするとともに、役員並びに会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

舞踊部門

今年度は、五月十一日(日)蟹江中央公民館にて第二十回「蟹江おどり」を開催しました。

年々、開演からフィナーレまで通しでご覧くださる方が増えているのは、私共何よりの喜びです。

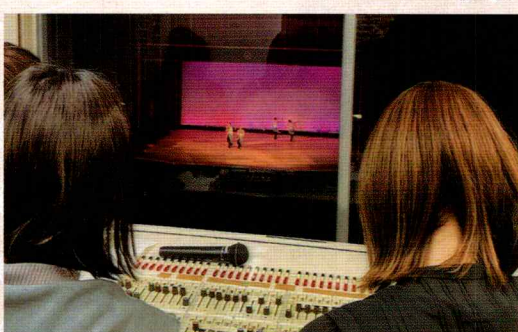
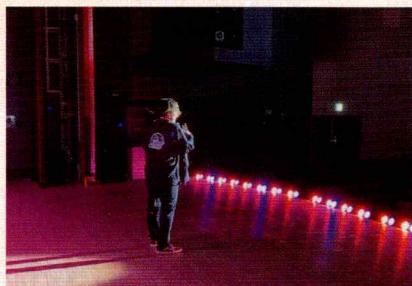
素敵な舞台創りは出演者の技量だけでは叶いません。その大切な舞台効果の一つに照明があります。

皆さま、集会所(ホール)の照明はどこで操作しているかご存じですか?客席の一番後ろ、さらにそのもつと上の天井近くにガラス

張りの照明室があります。舞台照明は、明暗だけでなく、風景や感情の変化を色彩を替えて表現します。それを音楽はもちろん、演者の動きにも合わせなければなりません。暗くするだけでも、パツと消すのか余韻を残すのか、とても繊細な操作と間合いが必要です。

そんな緊張の連続作業を、「蟹江おどり」では出演団体のチームが真心で担って下さっています。一度、客席後部天井付近を見上げてエールを送ってください。

次回公演もどうぞお楽しみに。



技術や芸を磨き、人とひととの出会いや生涯学習などの場として、人生を楽しみましょう。

美術部門

書・写真・絵画
文字アート・陶芸
フラワーアレンジメント

文学歴史部門

俳句

茶華道部門

茶華道

蟹江町文化協会 会員募集

団体加入は、蟹江町在住・在勤・在学など主体に5名以上、
個人入会ご希望の方は、
文化協会加入団体一覧表にある、
各種団体代表者または、
蟹江町教育委員会生涯学習課
(☎95-1111代)まで

技芸部門

手芸・機織

囲碁部門

囲碁

洋楽部門

吹奏楽・ピアノ
コーラス・ゴスペル
オカリナ・バンド
音楽アンサンブル

詩吟部門

詩吟

舞踊部門

日本舞踊・ダンス・太極拳
フラダンス・新舞踊・ヨガ
チアダンス・ストリートダンス

邦楽部門

箏曲・大正琴
太鼓・長唄・三味線



第四十一回総合美術展を、五月二十四日(土)二十五日(日)蟹江町体育館で開催し、書道、写真、水彩画、文字アート、陶芸、フラワーアレンジメント、俳句、手芸、機織の各団体の作品を展示しました。特別企画で、南海巨大地震に備えた展示と災害対策講話を行い交流を図りました。
研修室では、お茶を楽しむ会と文字アートひなびが、二期一会の呈茶席を開催しました。

第四十一回 総合美術展





第四十四回
邦楽の集い

五月二十五日(日)蟹江中央公民館にて、文化協会邦楽部門八団体参加による「第四十四回邦楽の集い」を開催しました。

箏・太鼓・大正琴の各団体が、日頃の練習の成果を発揮しました。



第45回 蟹江音楽祭 ～洋楽部門～

6月22日(日)午後1時から蟹江中央公民館にて「第45回蟹江音楽祭」を開催しました。蟹江町文化協会洋楽部門団体で日頃の練習成果を発表しました。

コーラスのアン・シャーロットを皮切りに、続いて蟹江アンサンブルソサエティの管楽器演奏、コスモス会のピアノ・大正琴演奏に児童合唱、ティンカーベルのゴスペルとギター友情出演、最後に蟹江吹奏楽団による演奏で幕を閉じました。毎年色々趣向を凝らして客席からは沢山の拍手を頂き盛り上がりました。次回もみんなで楽しめる音楽祭にしたいと思います。皆様の応援よろしくお願いします。



第四十五回 詩吟と剣詩舞発表会

七月十三日(日)午後一時三十分から「第四十五回詩吟と剣詩舞発表会」を蟹江中央公民館にて開催しました。

連日猛暑が続く時期でしたが、会員一同暑さに負けることなく一生懸命練習に励んできました。第一部の独吟では、弥富吟剣詩舞連盟の賛助出演のもと得意の曲を吟じたり、詩舞剣舞を披露し、そして第二部の構成吟は「太平記」と題し、南北朝時代の楠正成・正行を物語にして舞台を盛り上げました。

また、県立稲沢緑風館高校や佐屋高校の生徒、OBによる詩舞剣舞も華やかで会場の皆さまを楽しませてくれました。

今後他の団体との連携を深めて「詩吟と剣詩舞発表会」をより充実させていきたいと思えます。



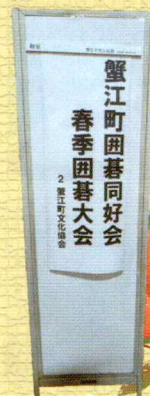
囲碁便り

蟹江町の囲碁愛好家のみなさん
こんにちは。蟹江町囲碁同好会の
成瀬と申します。

同好会のメンバーは最近高齢化
してきていますが、対局中は年齢
をかんじさせないくらい白熱した
戦いぶりをしていました。

月例会は主に毎週金曜日に十三
時〜十七時まで公民館和室で行っ
ています。

興味のあ
るかたは一
度公民館ま
でお尋ねく
ださい。お
待ちしてお
ります。



新
会
員

ストリートダンス 「T-studio」

一人ひとりの個性を大切に、楽しさと本
気が共存するダンススクール🌟
初心者からコンテスト上位者まで、全員
が輝けるステージを！🔥



新
会
員

長唄・三味線 「賀帆会」

江戸の粋と伝統を受け継ぐ歌舞伎音楽の長
唄を楽しむ賀帆会。
文化の香りに触れ、日本文化の奥深
さを共に学び味わう場です。



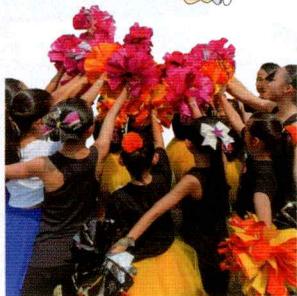
文協だより



新
会
員

チアダンス 「TEAM★K」

生涯スポーツとし
て注目されているチ
アダンス。イベント
出演の際は、観に來
て頂いた方に楽し
んで頂けるよう、メ
ンバーみんなと練
習しております。



新
会
員

バンド 「SCMP」 (Seven's Creative Music Party)

SCMPは、世代を問わず音楽でアンサンブル
を楽しむ会です。

日本のポップスや洋楽を中心に練習を行
い、発表会や店舗イベント、
マルシェなど地域での場での
演奏活動にも力を入れてい
ます。

音楽を通じて人がつなが
り、笑顔が広がる場づくり
を目指しています。



十一月八日(土)、九日(日)蟹江中
央公民館と蟹江町体育館で開催さ
れました。
舞台発表や作品展示、文化体験会
が行われ、日頃の練習の成果を披露
したり、丹精込めた作品が展示され
ました。
また、文字アートや茶道・箏・弓
琴・大正琴など貴重な文化体験をし
ていただきました。



令和七年度 生涯学習フェスティバル

蟹江町文化協会役員

名 誉 顧 問	横 江 淳一
"	伊 藤 俊一
"	服 部 英生
相 談 役	佐 藤 篤松
"	加 藤 俊男
会 長	大 河 内 正 博
副 会 長	服 部 大 子
"	伊 藤 吟 雪
常任理事(邦楽)	松 岡 隅 夫
" (美術)	高 阪 直 美
理 事(技 芸)	鈴 木 恵 子
" (洋 楽)	志 治 市 義
" (囲 碁)	成 瀬 光 彦
" (舞 踊)	花 柳 貴 人 生
監 事(文学歴史)	山 田 豊 志
" (邦 楽)	伊 藤 玲 子

十一月十二日(水)「命のビザ」発給で知られる杉原千畝記念館と関善光寺などを見学しました。

午前は関刃物センター。日本有数の刃物の産地・関市の魅力を凝縮した専門店を訪れ家庭用から業務用、さらに美術工芸刀剣まで、多彩な国産刃物製品を見ることができました。

続いて正式名称は「妙祐山宗休寺」という、宗派を問わず誰でも参拝できる開かれた寺院「関善光寺」に行き旅の安全を祈願しました。

お昼は「七宗御殿」で昼食をいただき、買い物を楽しみました。

午後は「上代田棚田」を車窓から見学した後、メインの「杉原千畝記念館」。第二次世界大戦中に約六千人のユダヤ人を救った外交官・杉原千畝の功績を後世に伝えるために設置された施設を見学しました。

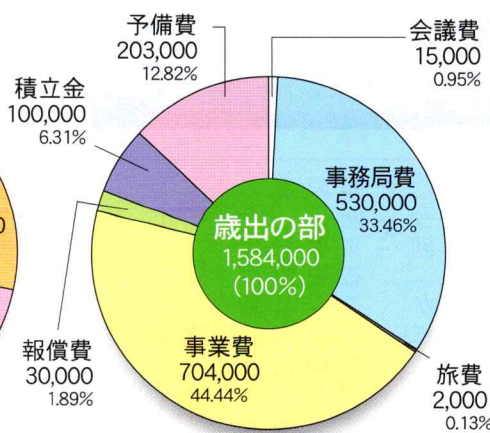
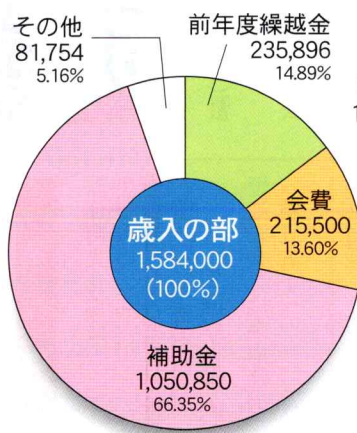
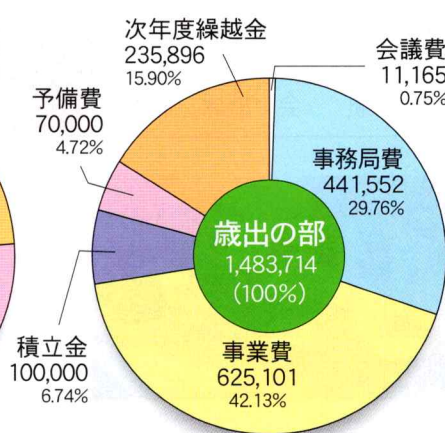
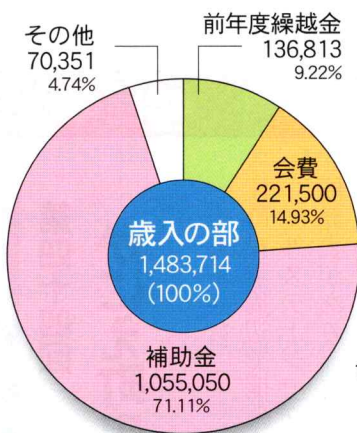
館内では、彼が発給した「命のビザ」の実物展示や、リトアニア領事館の執務室を再現した「決断の部屋」な



文化協会研修

杉原千畝記念館と八百津の旅

どを通じて、杉原千畝の人道的な勇気を学ぶことができたと同時に命の尊さや人としての在り方を考える場を与えてもらった場所でもありました。偉大な人物や歴史文化を学ぶ有意義な研修でした。

令和七年度
文化協会
総会報告

令和七年四月十九日(土)総会において文化協会加入団体代表者が出席し、新役員紹介、大河内会長挨拶のあと、令和六年度事業報告及び決算が報告され、監事による監査報告、令和七年度事業計画並び予算案について協議され、議決されました。



文化協会加入団体一覧表

皆さんの入会をお待ちしています

連絡先：生涯学習課 95-1111(代)

部門	種目	団体名	代表者氏名	部門	種目	団体名	代表者氏名	部門	種目	団体名	代表者氏名
美	書	墨心会	伊藤 吟雪	洋	ピアノ	コスモス会	服部 大子	舞	日本舞踊	花柳貴人生 日本舞踊教室	花柳貴人生
	書	蟹小PTA・OB書道部	小田多津子		ピアノ	風の会	岡田 節子		日本舞踊	西川流 紀和会	西川 文紀
	写真	かにえ写真クラブ	加藤 俊男		コーラス	ベルクロッシュ蟹江	伊藤 久恵		新舞踊	日舞 絆会	鈴木 朝子
	絵画	水彩画 彩	川添 隆志		コーラス	アン・シャーロット	中尾 静泉		新舞踊	ひなぎくの会	吉田 洋子
	文字アート	文字アート ひなび	中尾 静泉		ゴスペル	ゴスペルティンカーベル	中尾 静泉		ダンス	ヒロリズムダンス教室	伴 弘子
	陶芸	蟹江陶芸の会	桑野 京子	邦	音楽 アンサンブル	蟹江アンサンブルサティ	志治 市義	踊	太極拳	蟹江太極拳研究会	趙 占芳
術	陶芸	陶工房 かにの会	高阪 直美		バンド	S C M P	清水 建多		フラダンス	ハイビスカス	田中 廣美
	陶芸	すずらん陶芸の会	鈴木ツタエ		箏曲	伊藤玲子社中	伊藤 玲子		ヨガ教室	蟹江健康ヨガ	奥田たみの
	フラワーアレンジメント	フラワーベル	増渕 佳代		大正琴	岡田香真流大正琴 琴吉会 あやめ教室	天木 和子		ダンス フィットネス	AZ(アズ)サークル	鵜飼 明
文学 歴史	俳句	蟹江濃美句会	山田 豊志		大正琴	近代大正琴 琴衛会	二宮 峰子		ストリート ダンス	T-studio	水野 拓人
	茶華道	茶華道を楽しむ会	佐藤 章	楽	太鼓	須成鼓笛保存会	石原 新一	詩 吟	チアダンス	TEAM☆K	加藤 美樹
技 芸	手芸	カサブランカ	鈴木 恵子		太鼓	海東流神楽太鼓保存会	佐藤 康弘		詩吟	愛誠吟風会今教場	大河内正博
	機織	機織染色学習会	山田 要人		太鼓	西大海用神楽太鼓保存会	上別府彦利		詩吟	北辰神明流修業会蟹江支部	水野 京門
囲碁	囲碁	蟹江町囲碁同好会	成瀬 光彦		太鼓	御諏訪太鼓保存会 門下高阪道場	高阪 恵美		詩吟	西之森詩吟クラブ	澤野 宏
	吹奏楽	蟹江吹奏楽団	氏本 明枝		長唄 三味線	賀 帆 会	小塚 希帆	9部門 44団体			



第四十四回

かにえ町民まつり

十月十一日(土)、十二日(日)蟹江町役場周辺で開催されました。
屋外ステージで文化協会による芸能発表があり、町民祭りを盛り上げました。

発行者

蟹江町文化協会

〒四九七-〇五〇

海部郡蟹江町学戸三丁目二番地

蟹江町教育委員会

生涯学習課内

蟹江町文化協会事務局

☎ 九五-1111(代)

表紙題字 飯田 棲山

表紙写真・文 加藤 俊男

編集後記

今年度新会長のもと、お蔭さまでいつもの行事をつつがなく開催することができました。

今回「かにえ文化第六十三号」発行にあたり、会員の皆様には色々と協力を頂きました。ありがとうございます。

これから生涯学習を通して生き甲斐のある人生にしたいものです。

皆様のご入会をお待ちしています。

また、文化に関する情報などありましたら本協会までお寄せ下さい。